2026 年度ピアノ調律技能検定　学科試験問題　3 級

真偽問題

正しいものは①、正しくないものは②にマークしなさい。
①　、②以外を塗りつぶすと誤答になります。

問(1)　音名の呼び方で、「ハ」と「C」は同じ音である。

問(2)　空気中を伝わる音波は、粗密波である。

問(3)　音楽の3要素とは、リズム・メロディー・調性である。

問(4)　ピアノ協奏曲「皇帝」の作曲者は、モーツァルトである。

問(5)　1783年に、エラールがペダル特許を取得した。

問(6)　テーラーの公式は、弦のインハーモニシティに関する公式である。

問(7)　駒に用いられる樹種に、スプルースやトウヒがある。

問(8)　ミュージックワイヤーの16番手は、直径0．950㎜である。

問(9)　ピアノの弦の1本当たりの張力は、およそ90kg 程度である。

問(10)　完全4度の音程比は、3:4である。

問(11)　長3度の音程比は、5:8である。

問(12)　49A 付近では、1Hzが約2セントに相当する。

問(13)　音叉は、温度が上がるとピッチが低くなる。

問(14)　ピタゴラスコンマは、22セントである。

問(15)　複音程の 1 オクターブと完全5度の音程比は1:3である。

問(16)　アップライトピアノのソフトペダル調整では、ペダルを踏み込んだときに打弦距離が1/3となるようにする。

問(17)　アップライトピアノのロストモーション（から直し）は、鍵盤の高さ調整（ならし）より先に行う。

問(18)　働きが少ない原因が打弦距離（ハンマーストローク）にある場合は打弦距離を広くする。

問(19)　鍵盤の高さ（ならし）を調整したら、鍵盤の深さ（あがき）を調整する必要がある。

問(20)　アップライトピアノのキャプスタンボタンを奥方向に調整すると、働きは大きくなる。

問(21)　断線修理の際、弦のコイルは、打ち下ろした後に、引き上げる。

問(22)　アップライトピアノのハンマースティックは、バットプレートスクリューを緩めて直す。

問(23)　ダンパーレバークロスの貼り替えは、スプーンとロッドが当たる部分は接着しない。

問(24)　フレンジスティックでセンターピン交換する場合、木部との勘合よりブッシングクロスとの勘合を優先する。

問(25)　自動演奏ピアノは、ピアノのタッチの特性上、MIDI データによる記録・再生はできない。

多肢択一（3択）問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

問(26)　ニ長調の説明で、正しいものを1つ選べ。
1. ニ短調と平行調の関係がある。
2. 調号は、♯が2つである。
3. 音階が、上行と下行で音が異なる。

問(27)　音波について、正しいものを1つ選べ。
1. 音波の振幅が大きい方が、音が高い。
2. 音波の波長が長い方が、音が低い。
3. 音波の波形が、音の高さを表す。

問(28)　倍音の説明として、正しいものを1つ選べ。
1. 偶数倍の倍音は、基音に対しオクターブの関係となる。
2. 各倍音の波形は、それぞれ正弦波・矩形波・のこぎり波などの別がある。
3. 倍音の含まれ方の違いが、楽器の音色の違いとなる。

問(29)　ピアノ発達史で、エラールのレペティションアクション完成に関する年を1つ選べ。
1. 1811年
2. 1821年
3. 1831年

問(30)　ピアノの手入れ・使用環境について、記述内容が最も適切なものを選べ。
1. 常温では、湿度が50～70％が最適である。
2. ピアノにとって最適な暖房は、床暖房である。
3. アクリル樹脂製の白鍵の消毒は、アルコールを使用する。

問(31)　ミュージックワイヤーについて、正しいものを1つ選べ。
1. 工業用のピアノ線と同じものである。
2. 素材は鋼鉄である。
3. 1台のピアノには、約300本張られている。

問(32)　弦長について、正しいものを1つ選べ。
1. 振動する弦の長さと音波の波長は、同じ長さとなる。
2. ベアリングから駒までを有効弦長という。
3. 最高音の有効弦長は、およそ10㎝である。

問(33)　響板について、正しいものを1つ選べ。
1. 響板は、柾目になるように木取りする。
2. クラウンとは、音の伝播率のことである。
3. 響板には、比重の高い樹種が用いられる。

問(34)　次の記述から、正しいものを1つ選べ。

1. フレームの製造方法は、鋳造である。
2. フレームの製造方法は、鍛造である。
3. フレームの製造方法は、プレス加工である。

問(35)　セント法について正しくないものを1つ選べ。

1. オクターブは、1200セントである。
2. セント法は、メルセンヌにより考案された。
3. 純正の短3度は、316セントである。

問(36)　平均律と純正律について、正しいものを1つ選べ。

1. 平均律完全5度は、純正律完全5度より2セント広い。
2. 平均律長3度は、純正律長3度より14セント広い。
3. 平均律短3度は、純正律短3度より14セント狭い。

問(37)　平均律割り振りについて、正しいものを1つ選べ。(基音は 37A。音域は、33F～45F とする。)

1. 33F-45F を正しく調律したとき、33F-38A#の唸りと 38A#-45F の唸りの速さは一致する。
2. 33F-37A の唸りが基準より速い場合、33F は高めにずれている。
3. 37A-44E の唸りが基準より遅い場合、44E は低めにずれている。

問(38)　振動数と弦の張力の関係で、正しいものを1つ選べ。

1. 振動数を 1.06 倍にするには、弦の張力を、約 1.12 倍にする必要がある。
2. 振動数を 1.06 倍にするには、弦の張力を、約 1.06 倍にする必要がある。
3. 振動数を 1.06 倍にするには、弦の張力を、約 1.03 倍にする必要がある。

問(39)　純正長三和音の正しい音程比を、1つ選べ。

1. 2:3:4
2. 4:5:6
3. 5:6:7

問(40)　共通倍音に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 完全4度の共通倍音は、低い音の3倍音になる。
2. 完全5度の共通倍音は、低い音の3倍音になる。
3. 長3度の共通倍音は、低い音の3倍音になる。

問(41)　1回の打鍵で、ハンマーが2度打ちする場合、その原因と考えられるものを1つ選べ。

1. アップライトピアノのジャックストップレール調整の隙間が広すぎる。
2. カラ直し(ロストモーション)の調整で、カラが大きすぎる状態。
3. 鍵盤の深さ(あがき)が、深すぎる。

問(42)　ペダルについて、もっとも適切なものを選べ。

1. ダンパーペダルのストロークを半分踏み込んだ位置で、ダンパーが作動するように調整する。
2. グランドピアノの左のペダルを踏むと、アクション全体がシフトする。
3. アップライトピアノのソフトペダルを踏み込むと、打弦距離が約半分になる。

問(43)　止音不良の原因として考えられるものを1つ選べ。

1. ダンパーペダルの突き上げ
2. スプーン掛けの遅すぎ
3. ダンパースプリングの強すぎ

問(44)　アップライトピアノのアクションの働きを大きくする方法として正しいものを1つ選べ。

1. 鍵盤の深さ(あがき)を深くする。
2. ハンマー接近(レットオフ)を狭くする。
3. ダンパー掛かり(スプーン掛け)を早くする。

問(45)　断線修理に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 断線を放置しておくと、周囲の断線を引き起こしやすくなる。
2. 断線を繰り返す場合は、1/2番手太い弦を張ると効果がある。
3. 弦を張った後は、チューニングピンを打ち込んではならない。

問(46)　アップライトピアノの修理に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. ダンパーレバークロスの接着は、クロスの両端を接着する。
2. バットフェルトの接着は、フェルトの全面を接着する。
3. バックチェックフェルトの接着は、フェルトの両端を接着する。

問(47)　センターピン交換の方法として、正しいものを1つ選べ。

1. センターピンのトルクは、センターピンの選択によって、最終的に適正化を図る。
2. センターピン交換後、フレンジの走りを点検・修正する必要がある。
3. センターピンのトルクは、フレンジが自重で下がる状態が適当である。

問(48)　ネジが緩くなった時の対応として、適切なものを1つ選べ。

1. 木ネジの場合、ネジに接着剤を塗布してから締める。
2. 木ネジの場合、金槌で打ち込んでから締める。
3. アルミ製のセンターレールの場合、ネジをオーバーサイズに交換する。

問(49)　工具について、正しいものを1つ選べ。

1. 音叉は、どんな状況でも振動数は一定である。
2. センターピンと弦を切るカッターは、兼用できる。
3. チューニングハンマーのチップは、チューニングピンに合わせて適宜交換して使用する。

問(50)　消音型ピアノの点検・調整方法として、正しいものを1つ選べ。

1. 消音型のアップライトピアノのハンマー接近(レットオフ)は、生ピアノの調整寸法と異なる。
2. 消音型のアップライトピアノのダンパーペダル調整は、生ピアノの調整寸法と異なる。
3. 調律カーブは、電子音に合わせる必要がある。